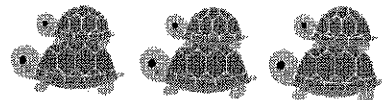


志望校へ合格するための受験生の掟



入試まで、残すところあと1年を切りました。志望校合格に向けて、学習に使える時間や機会はずべて有効に活用したいものです。無駄に時間を費やすことを避けるために、合格のための掟を掲げます。みなさんの受験勉強に役立ててください。

掟その1. 「志望校に近づくための勉強」が受験勉強と心得よ！



志望校合格に必要な力を知り、そこを集中強化するのが賢い受験勉強の方法です。そのためには、志望校の入試情報を知ることが不可欠です。また、この先志望校入試に対応できる実践力をつけていくために、今はしっかり基礎を固めましょう。

掟その2. 授業時間を最大限に活用するべし！

結局、入試問題も授業内容の延長線上にあります。理科・地歴公民対策の重要性アップを考え合せても、毎日の授業理解はそのまま受験勉強だと言えます。授業で得た知識は、定期考査の対策を通じて実践で使える知識に高めましょう。

掟その3. 入試で勝つために、授業の予習・復習を重視せよ！

授業の予習で身につく「初めて見る文章や問題に取り組む思考力」、復習で行う「身につけた知識を必要なときに使える形に整理する作業」。いずれも、まさに入試で必要となってくる力だけに、授業そのものに負けないほど重要度が高いです。

掟その4. 生活習慣を受験モードに切り替えるべし！

受験勉強を円滑に進めるためには、生活環境まで見直して欲しいです。すぐに学習に取り組み、集中できる空間をつくること、生活に一定のリズムをつくることによって学習時間を確保することは、受験生にとって重要な課題の1つです。

掟その5. 志望校決定のための情報は積極的に入手するべし！

志望校が絞られてくると、何に重点を置いて勉強するかもハッキリして、受験勉強を進めやすくなります。あくまでも自分が学びたいことを第一に考えた上で、入試情報や志望校の詳細を比較検討しながら志望校を決めていきましょう。

掟その6. 志望校絞り込みのため、模試を徹底活用するべし！

入試までの期間を模試という節目で短く区切り、その都度わかった自分の弱点・課題を補強することが着実に学力をアップさせていく秘訣です。また、入試のシミュレーションの機会として、志望校を吟味するためのツールとしても活用できます。

掟その7. 入試までの1年間のスケジュールを把握せよ！

志望校合格に向けて最短距離で進むためには、ただガムシャラに勉強すればいいというわけではありません。周りがどんな勉強をしているかという不安に悩まされないためにも、どの時期に何をやるかある程度イメージしてから受験勉強に取りかかりましょう。

3年生スタート時の学習習慣と成績アップの関係についてまとめてみました。これを参考に、自分の学習習慣を振り返り、今後の学習習慣を考えてみましょう。

成績がよかった人・よくなかった人の3年生スタート時の学習習慣

成績がよかった人

- 平日2時間以上、休日3時間以上の自主学習時間を確保している
- 受験に向けて、前向きな気持ちで努力したいと思っている
- 国語の授業では板書だけでなく重要と思ったこともノートにとる
- 数学で難しい問題があっても、まずは自力で考える
- 英語は平日1時間以上自主学習している

成績がよくなかった人

- 自主学習時間は平日・休日とも1時間以下
- 今後の自主学習時間の目標も平日・休日とも2時間以下
- 受験勉強のスタートを先送りしている
- 国語の授業では板書を写すことが中心
- 数学の自主学習をほとんどしない
- 英語の平日の自主学習時間が30分以下で、予習をしない

～各教科の成績アップのヒントとなる学習習慣を見てください～

英語

成績アップのヒントとなる学習習慣

- 英語の平日の自主学習時間
- 英語の授業の予習への取り組み
- 英語の授業理解度

成績アップのヒントとなる学習習慣は、学習時間と予習への取り組みです。成績がよかった人は、平日1時間以上の学習をしており、予習にもきちんと取り組んでいます。一方、成績がよくなかった人は、学習時間をほとんど確保していないようです。

受験勉強スタートにあたって、学習時間を伸ばしつつ、予習のしかた・授業への取り組みについて振り返りを行うことが大切です。

□英語の平日の自主学習時間 (単位: %)

選択肢	成績◎	成績▲
ほとんどしない	13.3	60.8
30分	25.4	23.2
1時間	33.2	10.1
1時間30分	13.9	3.1
2時間以上	19.6	2.5

□英語の授業の予習への取り組み (単位: %)

選択肢	成績◎	成績▲
教科書の本文を音に出して読む	4.7	4.7
新出の単語や熟語を辞書で調べる	22.4	15.6
本文を要約しておく	2.0	4.1
本文を訳している(または訳を考えている)	19.8	6.8
わからない文法事項を参考書などで調べる	4.7	1.8
本文をノートに写し授業で書き込むよう準備	3.1	6.4
教科書のリスニングCDを聞く	0.5	0.5
予習用のワークブックやプリントに取り組む	12.3	7.0
その他	6.7	15.7
予習しないよう指示されている	1.7	0.3
予習はしていない	21.5	36.4

国語

成績アップのヒントとなる学習習慣

- 国語の休日の自主学習時間
- 国語のノートのとり方
- 古文・漢文の自主学習内容
- 古文・漢文の授業の予習への取り組み

成績アップのヒントとなる学習習慣は、休日の自主学習時間やノートのとり方です。

成績がよくなかった人(成績▲)では、休日でも自主学習時間をほとんど確保しておらず、授業では板書を写すのみという人が多くなっています。

「予習→授業→宿題・復習」という学習サイクルを再度徹底することが必要です。

□国語の休日の自主学習時間 (単位: %)

選択肢	成績◎	成績▲
ほとんどしない	31.7	70.9
30分	22.5	16.1
1時間	27.7	8.1
1時間30分	8.1	2.3
2時間以上	9.8	2.3

□国語のノートのとり方 (単位: %)

選択肢	成績◎	成績▲
板書と重要だと思ったことをノートにとる	73.2	44.6
重要だと思ったことのみをノートにとる	5.6	4.3
板書のみをノートにとる	14.3	44.5
ノートはとらず教科書に授業内容を書き込む	3.3	1.7
不明点に印をつけ後で確認できるようにする	1.1	1.1
授業の内容なども言めて全くとっていない	2.3	2.5

数学

成績アップのヒントとなる学習習慣

- 数学の平日の自主学習時間
- 数学の宿題・授業の復習への取り組み
- 数学のすぐには解けない問題への対応

成績アップのヒントとなる学習習慣は、学習時間と宿題・授業の復習への取り組みです。

成績がよかった人は、宿題と復習両方に取り組んでいます。成績がよくなかった人は、復習にはほとんど手が回っていないようです。

宿題や復習に継続的に取り組むことが大切です。

□数学の平日の自主学習時間 (単位: %)

選択肢	成績◎	成績▲
ほとんどしない	10.7	71.2
30分	17.4	16.8
1時間	34.4	7.4
1時間30分	18.6	2.4
2時間以上	16.8	1.6

□数学の宿題・授業の復習への取り組み (単位: %)

選択肢	成績◎	成績▲
宿題と復習は必ずする	50.9	11.2
宿題はしていないが復習はする	8.2	4.2
宿題はしているが復習はしていない	33.6	53.7
宿題は完全にできず復習も手が回らない	2.3	10.0
復習はせず宿題は写させてもらうことが多い	0.7	7.6
宿題も復習もしていない	4.1	12.6

データは、2018年度スタディレポート3年生第1回全国集計結果より。「成績◎」はGTZ(学力):S1~S3(難関大合格レベル)、「成績▲」はD1~D3(基礎・基本養成レベル)の生徒の平均回答率。
 ※「GTZ(学力)」は、S1~D3の15段階で表示した学力の到達度の指標。
 ※注目していただきたい点に調付けをしています。